日本語

空気潜水用 (スキューバ潜水用) 防水時計 EL(40N)

取扱説明書

この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。
この時計を末永くご愛用いただくため , 本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さいますようお願い申しあげます。
尚 , この取扱説明書はお手元に保管し , 必要に応じてご覧下さい 。

◆ 安全上のご注意

ご使用になられる方や他の人への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、次の表示で区分されている内容につきましては必ずお守り下さい。

⚠ **警告** … この表示の欄は , 表示内容と異なった使い方をしたときに『**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**』内容です 。

⚠ **注意** … この表示の欄は , 表示内容と異なった使い方をしたときに『**人的傷害または物的損害のみが発生する可能性が想定される**』内容です 。

◆ 製品の特徴

① この時計は 、自動巻（手巻き付）機械時計です 。
② 時刻表示（時、分、秒針）の他に、日付、パワーリザーブインジケーターが付いています。
③ 秒針停止装置が付いています。
④ てんぷを衝撃から守る、耐震軸受を使用しています。
⑤ この時計は、200 m空気潜水用防水時計です。

◆ 製品仕様

(1)**機　　能**…時・分・秒針、日付、パワーリザーブインジケーター
(2)**振 動 数**…21,600 振動／1 時間
(3)**精度日差**…＋ 25 秒〜－ 15 秒
(4)**駆動方式**…ぜんまい巻（自動巻）
(5)**石　　数**…22 石
(6)**持続時間**…40 時間以上（最大巻上げ時）

※精度日差は室温において、ぜんまいを全巻にし、文字板上で静置した状態で、24 時間経過した時の日差です。
※自動巻機械時計の特性上、ご使用になる条件（携帯時間・時計の姿勢・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ具合等）によっては、精度日差の範囲を超える場合があります。
※製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

◆ ご使用にあたって

⚠ 警告

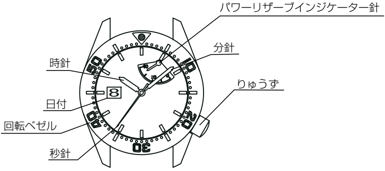
- 潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください。
- 空気潜水用ですので、飽和潜水（ヘリウムガスを使用する潜水）には、絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

- ダイビングでのご使用にあたっては、各種のダイビングに関する安全教育やトレーニングを受け、それに従ったルールをよく守ってご使用ください。
- 高所潜水の場合は計測基準が異なる上、通常潜水に比べ危険度が高いため必ず特別な訓練を受けること。
- 回転ベゼルは、目安として使用すること。
- 実際のご使用にあたっては、他の機材との併用で安全なダイビングを行ってください。

◆ ご使用方法

【各部の名称とはたらき】



※モデルにより、りゅうず、日付、パワーリザーブインジケーター位置が異なるものがあります。

【自動巻 (手巻き) 機構について】



① この時計は自動巻（手巻き付）機械時計です。
② ぜんまいは時計を腕に付けている間、腕の動きでぜんまいを自然に巻き上げることができます。
また、りゅうずを回してぜんまいを巻くこともできます。
③ 止まっている時計をご使用になるときは , 10 数回時計を振っていただくか、りゅうずを回してぜんまいを巻いて始動させて下さい。秒針が動き出したらカレンダー・時刻を合わせてください。
④ ぜんまいを巻く際にはりゅうずを通常位置で右（時計回り）にゆっくり回して下さい。なお、りゅうずは左回り（反時計回り）では空回りするようになっています。

止まっている状態からは、りゅうずを**約 20 回転**させれば充分に巻上げることができます。
巻上げが完了してもりゅうずは回転しますので、上記回数または、パワーリザーブインジケーターの目盛りを目安に巻いて下さい。

⑤ この時計は、ぜんまいが充分に巻き上げられた状態で約 40 時間動き続けます。ぜんまいの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になります。巻上げを充分行い、精度を保つためにも 1 日 8 時間以上携帯することをおすすめします。

⚠ 注意；ご使用にあたって

安定した精度でご使用いただくため、前ページ図のように時計をしっかりと持ち､大きく左右に振るか､りゅうずを回してパワーリザーブインジケーター針が目盛りの中心付近を指すまで巻き上げてから、腕に装着することをおすすめします。

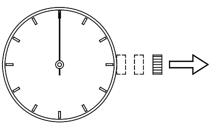
【ねじロック式りゅうずについて】

この時計は、ねじロック式りゅうずを使用しています。

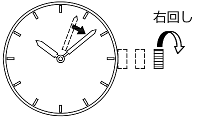
- ぜんまい巻（手巻き）時およびカレンダー、時刻合わせ時は、先にりゅうずを左に回し、ねじを緩めてから行って下さい。
- ぜんまい巻（手巻き）およびカレンダー、時刻合わせ終了後は、りゅうずを押しながら右に回し、ねじを止まるところまでしっかり締め込んで下さい。

◆ 時刻および日付の合わせ方

【時刻の合わせ方】



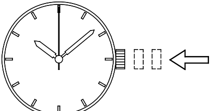
① りゅうずを左に回し、ねじを緩めます。秒針が 0 秒（12 時方向）の位置にきた時、りゅうずを 2 段目まで引き出します。
（秒針は停止します。）



② りゅうずを右に回して現在の時刻に合わせます。

※この時計は日付表示（カレンダー）付のため午前・午後を間違えないようにセットして下さい。
日付が変わる時が「午前 0 時」となります。

※時刻を合わせる際には、針を一旦正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにして下さい。



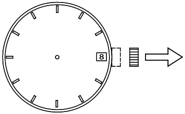
③ 時報と同時にりゅうずを通常の位置（0 段目）まで押し込みます。
りゅうずを押しながら右に回して、ねじをしっかり締めてください。

【日付の合わせ方】

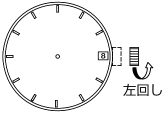
⚠ 注意

※時刻が午後 10 時〜午前 2 時までの間は、カレンダーの切換え作動中となりますので、カレンダー合わせは避けて下さい。この時間帯にカレンダー合わせをしますと、翌日になってもカレンダーが変わらないことや故障の原因となる場合があります。カレンダー合わせを行う場合は、この時間外に針を移動させてから行って下さい。

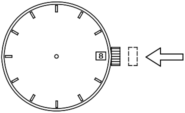
① りゅうずを左に回し、ねじを緩めます。
りゅうずを 1 段目まで引き出します。
※この時計のりゅうずは 2 段目まで引けます。



② りゅうずを左に回して今日の日付に合わせます 。



③ りゅうずを通常の位置（0 段目）まで押し込みます。
りゅうずを押しながら右に回して、ねじをしっかり締めてください。



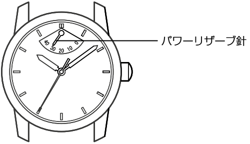
★日付、巻真の位置は、モデルによって異なります。

◎月末の日付修正について

ひと月が 30 日もしくは 30 日以下の月では、日付の修正が必要になりますので、翌月の 1 日になりましたら、日付を「1 日」に合わせて下さい。

◆ パワーリザーブインジケーター

パワーリザーブインジケーターとは、ぜんまいの巻上げ状態を時間で示し、残り駆動時間がひと目で解かる機能です。ぜんまいの巻上げ残量の表示はパワーリザーブインジケーター針によって表示していますので、針の指す時間が巻上げ残量時間です。



※このぜんまいの巻上げ残量時間はあくまでも目安ですので、表示の時間と実際の残量時間には差がありますので予めご了承下さい。

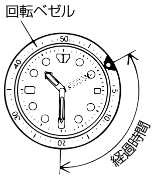
本製品は自動巻の製品にパワーリザーブインジケーター機能を備えていますので、腕に付けている間は腕の動きにより、ぜんまいが常に巻上げられ、パワーリザーブインジケーター針の表示は全巻（40H）方向へと移動します。

尚、腕の動きによりぜんまいの巻上げ量は異なりますので、常に全巻き方向を表示しているとは限りませんのでご了承下さい。腕から外し、ぜんまいを巻上げずに放置した場合は、時間の経過とともにパワーリザーブインジケーター針の表示はゼロ方向へと移動します。

また、本製品は手巻き機構が付いていますので、りゅうずを回してぜんまいを巻くことによりパワーリザーブ針は全巻（40H）方向に移動します。

◆ 回転ベゼルの使い方

回転ベゼルを回して、▽マークを分針に合わせて下さい。
ある時間が経過した後に分針の示す回転ベゼル上の数字を読むことにより、経過時間を知ることができます。
また、目的時刻に合わせておくことにより、残り時間を知ることもできます。
回転ベゼルは逆回転防止機構の付いた、ラチェット装置が付いていますので、ショックによる不用意な回転を防止し、また目盛りのセットがしやすくなっています。



上図は、10 時 10 分から 20 分経過したことを示しています。

◆ お取り扱いにあたって

⚠ 警告

(1) 防水性能について

① この時計は、200 m空気潜水用防水時計です。
※空気潜水用のみに使用できますが、飽和潜水（ヘリウムガス使用）にはご使用できませんのでご注意ください。

② りゅうずは、ねじロックタイプですので、常にしっかり締め込まれた状態でご使用ください。ねじが緩んでいると、防水性能は確保できません。

③ 水中あるいは水分のついたまま、ねじを緩めたり、りゅうずを回したり、引き出したり押込んだりしないでください。
時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。

④ 時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の温度より低いときにはガラス面がくもる場合があります。
くもりが一時的の場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合や時計内部に水分が入っている場合には、そのまま放置せず、ご購入店またお客様相談室にご相談ください。

(2) 潜水前のご注意

潜水前に以下の事柄について、よく確認してください。

- ぜんまいが巻き上げられているか。
（30 秒以上時計を振るか、りゅうずを回して、ぜんまいを充分に巻き上げてください。◆ご使用方法【自動巻（手巻き）機構について】および◆パワーリザーブインジケーター　参照）
- 時刻が正確にセットされているか。
- 回転ベゼルは、正常に回転するか。反時計回りが正常な回転方向です。
- ねじロック式のりゅうずのねじは、確実に締めてあるか。
- ガラス、バンドにヒビ、カケなどの異常はないか。
- バンドの結合部分（ばね棒、中留など）は、しっかりと固定されているか。

※異常がある場合はご使用を止め、お客様相談室にご相談ください。

(3) 潜水中のご注意

① 水中でのりゅうず操作はしないでください。
② 回転ベゼルは、水中で操作すると水圧のために回転がきつくなることがあります。（異常ではありません。）
③ 時計を岩などにぶつけたり、ショックを与えないでください。

(4) 潜水後のご注意

① 水滴の付いたままでのりゅうず操作はしないでください。
② ケースおよびバンドに付いた海水等は、りゅうずのねじが確実に締めてあるか確認の上、真水でよく洗い落とし、サビが出ないようにしてください。また、洗った後は乾いたやわらかい布などで、よく水分を拭き取ってください。特に、ベゼル付近と結合部分（ばね棒、中留など）は、よく水分を拭き取ってください。

(5) ショックについて



① ゴルフなどの軽スポーツによる影響はありませんが、激しいスポーツの場合は取り外して下さい。
② 床面に落とすなどの激しいショックは与えないで下さい。

(6) 磁気について

① 家庭用電気製品程度の磁気には心配ありません。
耐磁水準Ｉ（ANTIMAG. Ｉ）…4,800A ／m（60 ガウス）まで耐えられます。

⚠ 注意

② 磁石、磁気健康器具（肩こり治療器・腕輪など)、電気マージャン台など強い磁気を発生するものには、近づけないで下さい。
③ 強い磁気を発生する所に長時間放置しますと部品が磁化して、故障の原因となることがありますので、ご注意下さい。
④ 磁気の影響を受けると一時的な進み遅れが生じることがありますが、磁気から遠ざけると元の精度で動きます。この場合は時刻を修正して下さい。

⑤ 発生する磁気の強さは表を参考にして下さい。

●身の回りの磁気製品・電気製品の磁界の強さ

製品名	磁界の強さ（単位：A/m）	判定		磁界の強さ（単位：A/m）	判定	
	密着状態	ANTIMAG Ⅰ	ANTIMAG Ⅱ	5cm 離れた状態	ANTIMAG Ⅰ	ANTIMAG Ⅱ
紙止め用磁石（DC）	23,900～71,600 (300～900 ガウス)	×	×	200～1,200 (2.5～15 ガウス)	○	○
テレビ（AC・DC）	500～1,200 (6～15 ガウス)	○	○	0～400 (0～5 ガウス)	○	○
冷蔵庫の開閉部磁石（DC）	31,800～63,700 (400～800 ガウス)	×	×	400～3,200 (5～40 ガウス)	○	○
電話機のスピーカー部（DC）	2,400～3,600 (30～45 ガウス)	○	○	300～400 (4～5 ガウス)	○	○
電気カミソリ（AC）	6,400～11,900 (80～150 ガウス)	×	○	400～800 (4～10 ガウス)	○	○
音響製品のスピーカー部（DC）	600～20,000 (80～250 ガウス)	△	△	0～3,200 (0～40 ガウス)	○	○
各種家具の開閉部磁石（DC）	47,800～63,700 (600～800 ガウス)	×	×	800～1,200 (10～15 ガウス)	○	○
磁気バート（DC）	47,800～119,400 (600～1,500ガウス)	×	×	0 (0 ガウス)	○	○
磁気ネックレス（DC）	63,700～95,500 (800～1,200ガウス)	×	×	40～80 (0.5～1 ガウス)	○	○
ハンドバッグの開閉部磁石	28,700～63,700 (360～800 ガウス)	×	×	0～240 (0～3 ガウス)	○	○

※判定の○は影響無し、×は影響有り、△は製品･機種によって異なります。

※上表の数値は目安です。磁界の強さは磁気製品・電気製品の機種により強弱が異なります。

※磁界の強さは距離の二乗に反比例しますので、密着状態と少し離れた状態でその数値は大きく異なります。

(7) 振動について

強い振動を加えないで下さい。時計の進み遅れの原因になります。

（注:場合によっては、点検調整修理が必要になります。）



(8) 温度について

常温＜５℃～３５℃＞から外れた環境では、機能が低下したり停止する場合があります。

(9) 化学薬品・ガスなどについて

ガス、水銀、化学薬品など（シンナー・ガソリン・各種溶剤、またはそれらを含むクリーナ・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）が触れるとケース、バンド、文字板の変色や樹脂部品では、変色、変形、破損する場合がありますので十分ご注意下さい。

(10) 商品及び付属部品について

⚠ 注意

商品の分解・改造はしないで下さい。

⚠ 警告

バンドやピン等は乳幼児の手の届かないところに保管して下さい。万一、飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談下さい。

(11) 高温下での使用

⚠ 注意

サウナなどの高温下での装着は、火ぶくれ（火傷）になる可能性がありますので、ご使用をお避け下さい。

◆ かぶれやアレルギーについて

⚠ 注意

体質により金属・軟質および硬質プラスチックなどにて皮膚がかぶれたり、肌に異常が認められたときは 、直ちにご使用を中止し 、専門医にご相談下さい。

◆ ルミナスライトについて

この商品は、針・文字板等にルミナスライトを使用しています 。
ルミナスライトは放射性物質を含まない安全な蓄光塗料（光を蓄えて発光する塗料）です。太陽光や照明光等の光を塗料に蓄えて発光します。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間の経過とともにだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際、ガラスの形状･蓄光材の厚み・まわりの明るさ・時計との距離・光の吸収度合などの諸条件により、発光の強さや時間には誤差を生じます。光の蓄え方が弱い場合、発光が弱かったり発光時間が短いことがありますのでご注意ください。

⚠ 注意

潜水にご使用になる場合は、充分に光を当ててください。暗い環境での潜水の際、光の蓄えが不十分であると水中で発光しない場合があります。水中ライトを併用して潜水されます様、ご注意ください。

◆ 長くご愛用いただくために

注意

(1)ケース・バンドのお手いれ

① ケース・バンドなどに付着した汚れや水分は時計機能を損なったり、皮膚の弱い方のかぶれや衣類の袖口を汚す原因となる場合があります。末永くご使用いただくために柔らかい布などで拭き常に清潔にしてお使い下さい。特にバンドは肌着類と同様、直接肌に接していますので、定期的に次の方法で汚れを取りご使用下さい。

[ケース]

汚れを柔らかい布などで拭き取って下さい。薬品などは変色の原因となりますので、使用しないで下さい。

[金属バンド]

石鹸水を付けた柔らかい歯ブラシで部分洗いをして下さい。このとき、非防水時計は水がケースにかからないように注意して下さい。汚れたままにしておきますと腐食・サビの原因ともなります。

[軟質プラスチックバンド]

ウレタン・ナイロンなどのバンドは特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどくなりますと皮膚がかぶれたりする場合がありますので、時々石鹸水または水で洗って下さい。薬品などは変質の原因となりますのでご使用にならないで下さい。また使用期間によっては、材質が硬くなり、折れたり割れたりする場合がありますので、その際は新しいバンドと交換して下さい。

② ケースおよびバンドに水銀（体温計など）・薬品などが付着すると変色する場合がありますのでご注意下さい。

③ バンドは指1本が入る程度の余裕を持たせ通気性をよくしてご使用下さい。
④ ケースとバンドとの接合部や金属バンドの駒の接合部に使用しているピンが錆びると、バンドが外れたり時計が脱落したり、稀に怪我をすることがありますのでご注意ください。
⑤ ケースやバンドが腐食等により鋭利になった場合やバンドのピンが飛び出してきた場合は、ご使用を中止し、ご購入店、またはお客様相談室にご相談下さい。

(2)回転ベゼルのお手入れ
回転ベゼル付きの商品はベゼルの下に汚れなどがたまり、機能が損なわれる場合がありますので、柔らかい歯ブラシで汚れを落とし清潔にしておいて下さい。

(3)点検のおすすめ
① 2〜3年に1度の点検をおすすめします。保油状態、汗・水分侵入の有無などご購入店またはオリエント時計サービスセンターにお申し付け下さい。点検の結果によっては調整・修理を必要とする場合があります。
② 定期点検をする際は、防水性能を保つために、パッキン等の交換をおすすめします。また、ばね棒も必要に応じて交換して下さい。
③ 部品交換のときは「純正部品」とご指定下さい。

◆ 保証とサービスについて

※保証書は必ずお読み下さい

1. 保証について
本製品が保証期間内に取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万一故障が生じた場合には、保証書に従い無償で修理・調整いたします。保証書を添えてご購入店またはオリエント時計サービスセンターにお持ち下さい。保証内容は保証書に記載されていますので必ずお読み下さい。

2. 補修用部品の保有期間について
   この時計の補修用部品の保有年数は、生産終了後通常７年間を基準としています。
   ※補修用部品とは、製品（時計）内部の時間機能のための機械体（ムーブメント）の部品です。
   ケース・ガラス・文字板・針・バンド・りゅうずなど製品の機能維持と直接関係ない外装部品は含まれていません。これらの外装部品は、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承下さい。
3. 修理可能期間について
   原則として、正常なご使用であれば補修用部品の保有期間中の修理は可能です。ただし、修理可能時期は、ご使用条件・環境で著しく異なり、時計の状態によっては初期精度の復元が困難な場合がありますので、修理ご依頼の際には、現品持参の上、ご購入店とよくご相談下さい。
4. ご転居・ご贈答品の場合について
   ご転居・ご贈答品などで、ご購入店が遠隔地となり、保証サービスが受けられない場合には、お客様相談室にご相談下さい。
5. 商品に関するお問い合わせについて
   商品に関するお問い合わせは、お客様相談室へお問い合わせ下さい。
6. その他のお問い合わせについて
   その他保証とサービスについてご不明の点がありましたら、お客様相談室へお問い合わせ下さい。

◆ オリエント時計サービスセンター

【修理のご依頼、お問い合わせ】

●東日本サービスセンター……〒 193-0831 東京都八王子市並木町 9-15
オリエント時計（株）
TEL. (042)629-0269

●西日本修理センター ………〒 542-0081 大阪府大阪市中央区南船場
2-3-6 長堀橋駅前ビル 8F
オリエント時計（株）
TEL. (06)6266-0888

※修理に関する受付・お問い合わせは、ご購入店、または上記で承っております。

◆ オリエント時計お客様相談室

【商品、保証、サービスに関するお問い合わせ】

●お客様相談室………TEL. (03)3255-9330（平日 9:30 ～ 17:30）

製造販売元 オリエント時計株式会社
〒 101-0021 東京都千代田区外神田 2-4-4（電波ビル）
http://www.orient-watch.jp

WATER RESISTANT MECHANICAL WATCHES FOR AIR DIVING EL(40N)

INSTRUCTION MANUAL

Thank you for choosing our product. To ensure prolonged use and optimum performance, please read this instruction manual carefully and familiarize your-self with the terms of the guarantee.

Please keep this instruction manual handy for future reference.

◆ SAFETY PRECAUTIONS

Make absolutely sure to observe the demarcated contents indicated below to prevent any possible physical danger and property damage to you as well as other people concerned.

⚠ **WARNING** ... A demarcation with this symbol represents the contents **assuming possibility for death or serious injury** when the product is used in any manner different from given instructions.

⚠ **CAUTION** ... A demarcation with this symbol represents the contents **assuming possibility of causing human injury or material damage only** when a product is used in any manner different from given instructions.

◆ IN HANDLING THE WATCH

⚠ **WARNING**

(1) Water-resistance

① This watch is water-resistant up to 200 m for use in air diving.
*This watch can only be used in air diving; please be aware that it cannot be used in saturation diving (using helium gas).

② The crown is a screwed-down type. Always tighten the crown securely when using this watch. If the crown is not securely tightened, water resistance cannot be guaranteed.

③ Do not operate the crown while in water or there is water on the watch. Water will penetrate the watch. If the crown is loose, water may enter the watch and cause a malfunction.

④ There is a small amount of humidity inside the watch. If external temperature is lower than inside the watch, the glass may fog. Temporary fogging will not damage the internal mechanism but if it remains for a long time or if there is moisture inside the watch, consult the shop where you purchased the watch or the nearest ORIENT WATCH Service Center.

(2) Precautions before diving

Make sure to do the following before you dive.

① Check that the watch is fully wound.
(If not, wind the mainspring by swinging the watch for at least 30 seconds.)
See the description of the ◆ AUTOMATIC WINDING MECHANISM (WITH HAND WINDING MECHANISM) on page 26 and ◆ POWER RESERVE INDICATOR on page 29.

② Make sure the watch shows the correct time.

③ Check that the rotating bezel can be turned normally. If it can be turned counterclockwise, the rotation direction is normal.

④ Check that the screwed-down type crown is securely tightened.

⑤ Make sure that there are no cracks or chips in the glass or bracelet/strap.

⑥ Make sure that there are no abnormalities in the bracelet/strap links (spring bar and buckle).

* If there are any abnormalities, stop using the watch and contact the ORIENT WATCH Service Center.

(3) Precautions during diving

① Do not operate the crown while in the water.

② The rotating bezel may be hard to operate under water due to water pressure. (This is not a malfunction.)

③ Do not subject the watch to shocks, such as banging on rocks.

(4) Precautions after diving

① Do not operate the crown while there is water on the surface of the watch.

② To remove salt water from the case or bracelet/strap, first make sure the crown is securely tightened. Then, rinse it with fresh water to prevent rusting.
After rinsing, wipe with a soft dry cloth to remove any moisture. Be especially careful to wipe off the bezel and the bracelet/strap connecting section (spring bar and buckle).

(5) Shock



① Be sure not to carry the watch when you engage in strenuous sports, whereas playing such light sports as golf, etc., will not adversely influence the watch.

② Avoid a violent shock such as dropping the watch on the floor.

(6) Magnetism

① If the watch is left at a location with strong magnetism for an extended period of time, the components may be magnetized, resulting in malfunction. Be careful.

② The watch may temporarily speed up or slow down when exposed to magnetism. Precision is restored when placed away from magnetism. In such a case, reset the time.

ENGLISH

(7) Vibration



The watch may lose precision if subjected to strong vibrations such as from riding motorcycles, using jackhammers, chain saws, etc.

(8) Temperature

In environments below and above normal temperatures (5°C-35°C), the watch may malfunction and stop.

⚠ CAUTION

Do not use the watch at high temperatures, such as in a sauna. The watch may heat and cause burns.

(9) Chemicals, Gases, etc.

Utmost caution must be exercised when coming into contact with gases, mercury, chemicals (paint thinner, gasoline, various solvents, detergents containing such components, adhesives, paint, drugs, perfumes, cosmetics, etc.), and so forth. Such may cause discoloration of the watchcase, watchband, and dial face. Discoloration, deformation, and damage to various resin-based component parts may also occur.

(10) About the Product and Accessory Parts

⚠ CAUTION

Do not attempt to disassemble or modify this product.

⚠ WARNING

Store the bracelet/strap pin and other small parts out of the reach of children. If any small parts are swallowed, immediately contact a doctor.

(11) Allergic reactions

⚠ CAUTION

If you develop a skin rash or your skin becomes abnormally irritated due to contact with the watch or strap, stop wearing the watch immediately and consult a doctor.

(12) About "luminous light"

This watch has luminous light on the hands and dial.

The luminous light is a safe paint that stores sunlight and artificial light without using any radioactive material, and emits that light in a dark setting. As the paint discharges the stored light, it will become dimmer over time. The amount of light emitted and the time that light is emitted depends on various factors when the light is stored, such as the shape of the glass, the thickness of the paint, surrounding brightness level, the distance from the watch to the light source, and the light absorption level. Please note that when not enough light energy is stored, the watch may emit weak light or emit light for only a short time.

⚠ CAUTION

Before using the watch for diving, apply sufficient bright light or sunlight to the watch.

Light may not be emitted in certain cases if light is insufficient.

Please note that an underwater light must also be used diving.

(13) Water resistant watchband

Some products employ leather and nylon bands on which a special treatment to resist perspiration and water absorption have been applied. Please understand that the water resisting effect of this watchband can be lost depending on the period and conditions of use.

◆ PRODUCT FEATURES

(1) This product is an automatic winding mechanical watch (with a hand winding mechanism).
(2) In addition to showing the time, this watch has a date indicator and power reserve indicator.
(3) It comes with a second hand halt mechanism.
(4) It uses shock-proof bearings to protect the balance from shocks.
(5) This watch is water-resistant up to 200 m for use in air diving.

◆ SPECIFICATIONS

(1) Functions: hour/minute/second hands, date, and power reserve indicator
(2) Vibrations: 21.600 vibrations/hour
(3) Daily accurancy: 25 sec. to -15 sec.
(4) Drive system: Mainspring winding (automatic winding)
(5) Number of Jewels: 22 jewels
(6) Running time: More than 40 hours

The stated daily accuracy is in the following conditions:

- After 24 hours at room temperature with the mainspring wound fully and the dial facing up.
- Due to the characteristics of the automatic winding watch, the time may deviate from the stated “daily accuracy” depending on the following conditions: amount of time the watch is worn each day, position of the watch, movement of your arm, winding condition of the mainspring.

Product specifications may change without notice, for improvement.

◆ BEFORE USE

⚠ WARNING

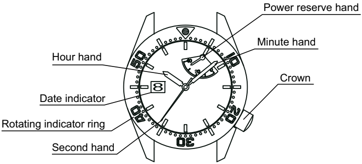
* Never perform operations not instructed in this manual while diving.
* This watch is for use in air diving. Refrain from using it in saturation diving (diving using helium gas).

CAUTION

* Before diving, make sure you have taken the necessary diving safety courses and are qualified to dive safely. Strictly follow the rules given in these courses.
* Measurement standards for altitude diving are very different from ordinary sea level diving, making it very dangerous in comparison. Make sure you have received special training.
* Use the rotating bezel only for reference.
* For actual use, use this watch together with other equipment in order to dive safely.

ENGLISH

◆ NAMES AND FUNCTIONS OF INDIVIDUAL COMPONENT PARTS



* The position of the crown, date indicator, etc., varies from model to model.

◆ **AUTOMATIC WINDING MECHANISM (WITH HAND WINDING MECHANISM)**



(1) This is an automatic winding mechanical watch (with a hand winding mechanism).

(2) The mainspring is wound by natural movements of your arm when wearing the watch on your wrist.
In addition, you can also wind the mainspring by turning the crown.

(3) If your watch stops, either swing the watch back and forth ten or more times or turn the crown to wind the mainspring in order to restart the second hand.
After it starts moving, set the calendar and time.

(4) When winding the mainspring, slowly turn the crown to the right (clockwise) while in its normal position.
Turning the crown to the left (counter-clockwise) merely turns the crown uselessly and does not wind the mainspring.
You can wind the mainspring fully by turning the crown to the right about twenty times from a stopped position.
The crown can still be turned after the mainspring is fully wound. Either use the above count or use the markings on the power reserve indicator when winding the watch.

(5) This watch will run approximately 40 hours after it is fully wound. If it is not wound enough, the watch may lose accuracy. In order to maintain the watch's accuracy, we recommend wearing the watch at least 8 hours a day.

⚠ **CAUTION: Use caution**

In order to use the watch and maintain precision, we recommend that you hold the watch securely as shown above. Wind the spring by moving your arm left and right in a large arc, until the power reserve hand is at the middle of the power range (or higher), then put it on your wrist.

◆ MODELS WITH SCREWED-DOWN CROWN

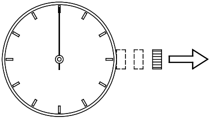
This type of watch has a screwed-down crown.
Operate this type of watch as follows:

(1) Before setting the date and time, first turn the crown to the left to loosen the screw lock.
(2) After setting the date and time, turn the crown to the right while pressing in, until it stops turning to securely tighten the screw.

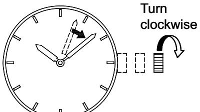
◆ HOW TO SET THE TIME & DATE

[How to set the time]

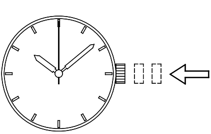
① Turn the crown counterclockwise to loosen the screw lock.
Pull the crown out to the second click when the hand reaches the 12 o'clock position. (Second hand stops.)



② Turn the crown clockwise and set the current time.
Since this watch comes with a calendar, be sure to set either a.m. or p.m.
The date changes at [twelve o'clock midnight].
When setting the time, first bring the hand back slightly later than the actual time and then move it forward to the actual time.



③ Press the crown in to the unscrewed position.
After adjusting the time, turn the crown clockwise while pressing in until it stops turning to tighten the screw securely.

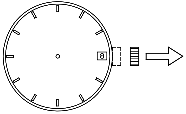


[How to set the date]

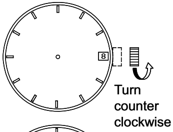
CAUTION

Avoid setting the date between 10:00 p.m. and 2:00 a.m. since the calendar changes during this time. If the date is set during this time period, the date may not change or the watch may malfunction. Be sure to move the hour and minute hands away from this time period when setting the date.

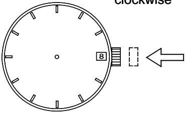
① Turn the crown counterclockwise to loosen the screw lock.
Pull the crown out to the first click.
*The crown on this watch can be pulled out to the first and second clicks.



② Turn the crown counterclockwise until you reach today's date.



③ Press the crown in to the unscrewed position.
After adjusting the date, turn the crown clockwise while pressing in until it stops turning to tighten the screw securely.
*The position of the crown, date indicator, etc., varies from model to model.



About date correction at month's end :
Date correction is necessary for months with 30 days or less. In this case, set the date to the [1st day] on the first day of the next month.

◆ POWER RESERVE INDICATOR

The power reserve indicator shows how much the watch is wound, allowing you to see how much longer the watch will run at a glance. The time pointed to by the power reserve hand is the remaining time.

The remaining time shown is only an approximation. The time shown may be different from actual remaining time.

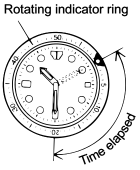


This product has an automatic-winding system which comes with a power reserve indicator function. The mainspring will be automatically wound by your natural arm movements while you wear it on your wrist. The power reserve hand is pointing to the fully-wound position (40H). The amount the watch is wound will change with the frequency of your arm movements and the length of time you wear the watch, so the hand will not always point to the fully-wound position. If you remove the watch from your arm and do not wind manually, the power reserve hand will move toward zero as time passes.

◆ HOW TO USE THE ROTATING INDICATOR RING

Turn the ring by pointing the ▽ mark to the minute-hand. While certain time goes by, you can measure the elapsed time from the distance between minute-hand and figures on the rotating indicator ring. You can also set the ▽ mark as a desired time to remind you how long time is still remain for an appointment.

You cannot turn the ring reversely since it comes with a protection mechanism for preventing wrong operation by force or shock. Figures on the ring could also help you to read the current time easily.



The above shows that 20 minutes have elapsed from 10:10.

ENGLISH

RELOJES MECÁNICOS PARA BUCEO LIBRE EL(40N)

MANUAL DE INSTRUCCIONES

Gracias por adquirir un producto de nuestra compañía. Lea cuidadosamente este manual de instrucciones para familiarizarse con la operación y los términos de la garantía.
Guarde este manual a mano para futuras consultas.

◆ PRECAUCIONES DE SEGURIDAD

Asegúrese absolutamente de observar los contenidos demarcados indicados abajo para evitar de antemano ocasionar daños materiales, o personales a usted u otras personas involucradas.

⚠ ADVERTENCIA ... Un contenido demarcado con este símbolo indica **peligro de muertte o de sufrir graves daños personales** si el producto no es usado como se especifica en las instrucciones suministradas.

⚠ PRECAUCIÓN ... Un contenido demarcado con este símbolo indica **la posibilidad de ocasionar solamente daños personales o materiales** si el producto no es usado como se especifica en las instrucciones suministradas.

◆ ACERCA DEL MANEJO DEL RELOJ

⚠ **ADVERTENCIA**

(1) Resistencia al agua

① Este reloj es sumergible a 200 m, para practicar el buceo libre.
  * Este reloj solo puede usarse en buceo libre. No puede usarse en buceo a saturación (usando gas helio).

② La corona es de rosca. Siempre debe apretar bien la corona cuando utilice este reloj. Si la corona no está bien apretada, no se puede garantizar la resistencia al agua.

③ No accione la corona mientras esté en el agua o el reloj esté mojado. Puede entrar agua en el reloj. Si la corona está floja, puede entrar agua en el reloj y ocasionar un fallo de funcionamiento.

④ Hay una mínima cantidad de humedad ambiente en el reloj. Si la temperatura exterior es inferior a la del interior del reloj, el cristal se puede empañar. Este empañamiento temporal no dañará el mecanismo interno, pero si se mantiene durante mucho tiempo o si hay humedad en el interior del reloj, consulte al establecimiento donde adquirió el reloj o al Centro de Servicio ORIENT WATCH más próximo.

(2) Precauciones antes de bucear

Asegúrese de hacer lo siguiente antes de bucear.

① Compruebe que el reloj tenga toda la cuerda.
  (En caso contrario, déle cuerda agitando el reloj durante al menos 30 segundos.)
  Véase la descripción del [Mecanismo de cuerda automático] en ◆ MECANISMO DE CUERDA AUTOMÁTICO (CON MECANISMO DE CUERDA MANUAL) en la página 38 e ◆ INDICADOR DE RESERVA DE ENERGÍA en la página 41.

② Asegúrese de que el reloj indique la hora correcta.

③ Compruebe si el bisel giratorio se puede girar con normalidad. Si se puede girar en sentido antihorario, la dirección de giro es normal.

④ Compruebe si la corona roscada está bien apretada.

⑤ Asegúrese de que no hay grietas o fisuras en el cristal o en la correa.

⑥ Asegúrese de que no hay anomalías en las fijaciones de la correa (asas y hebilla).

* Si hay anomalías, deje de usar el reloj y póngase en contacto con el Centro de Servicio ORIENT WATCH.

(3) Precauciones durante el buceo

① No accione la corona mientras esté en el agua.

② Puede ser difícil accionar el bisel giratorio bajo el agua debido a la presión del agua. (Esto no es un fallo e funcionamiento.)

③ Evite que el reloj sufra golpes, por ejemplo, contra las rocas.

(4) Precauciones después de bucear

① No accione la corona mientras haya agua en la superficie del reloj.

② Para eliminar el agua salada de la caja o la correa, asegúrese primero de que la corona esté bien apretada.
Luego, enjuague con agua corriente para prevenir la corrosión.
Después del enjuague, pase un paño suave seco para eliminar cualquier resto de humedad. Frote con extremado cuidado el bisel y las piezas de unión de la correa (las asas y el soporte intermedio).

(5) Golpes

① Asegúrese de quitarse el reloj cuando participe en deportes extenuantes, aunque el uso del reloj para un deporte ligero como el golf, etc., no tendrá efectos perjudiciales.

② Evite los impactos fuertes, como dejarlo caer al suelo.



(6) Magnetismo

① Si deja el reloj en un lugar cerca de un campo magnético fuerte durante largo tiempo, los componentes del mismo podrán magnetizarse y ocasionar una avería. Tenga cuidado.

② El reloj se podrá adelantar o atrasar temporalmente cuando sea expuesto a un campo magnético. El reloj se adelantará o atrasará temporalmente cuando sea expuesto a un campo magnético, pero volverá a funcionar con la precisión original cuando lo retire del magnetismo. En este caso, corrija la hora.

ESPAÑOL

(7) Vibraciones



El reloj puede retrasarse temporalmente si se expone a vibraciones fuertes, como al conducir una moto o al utilizar martillos mecánicos, sierras de cadena, etc.

(8) Temperaturas

En ambientes por debajo o por encima de la gama de temperaturas normales (5°C a 35°C), el reloj puede funcionar defectuosamente y detenerse.

⚠ PRECAUCIÓN

No utilice el reloj a altas temperaturas, por ejemplo, en un sauna. El reloj podría calentarse y causarle quemaduras.

(9) Sustancias químicas, gases, etc.

Preste suma atención al entrar en contacto con gases, mercurio, sustancias químicas (diluyente, gasolina, diversos disolventes, detergentes que contengan tales componentes, adhesivos, pinturas, medicinas, perfumes, cosméticos, etc.), y otros productos similares. El contacto con tales sustancias podrá ocasionar la decoloración de la caja del reloj, la correa y la esfera. También podrán decolorarse, deformarse y dañarse varios componentes fabricados a base de resinas.

(10) Acerca del producto y los accesorios

⚠ PRECAUCIÓN

No intente desmontar ni modificar este producto.

⚠ ADVERTENCIA

Guarde el pasador de la correa y otras piezas pequeñas fuera del alcance de los niños. Si se produjera la ingestión accidental de alguna pieza, acuda inmediatamente al médico.

(11) Reacciones alérgicas

⚠ PRECAUCIÓN

Si ha experimentado irritación en la piel o ha sufrido una irritación anormal a causa del contacto con el reloj o la correa, deje de usar el reloj inmediatamente y consulte a un médico.

(12) Sobre la "luz luminosa"

Este reloj cuenta con una luz luminosa para las manecillas y la esfera.

La luz luminosa es una pintura segura que almacena luz solar y luz artificial, sin hacer uso de ningún material radioactivo, y que emite luz en lugares oscuros. La luminosidad se desvanece gradualmente, a medida que la pintura descarga la luz almacenada. La cantidad de luz emitida y su duración dependen de varios factores vinculados al almacenamiento de la luz, por ejemplo la forma del cristal, el espesor de la pintura, el nivel de brillo circundante, la distancia entre el reloj y la fuente de luz, y el nivel de absorción de luz. Por favor tenga en cuenta que cuando no se almacene suficiente energía lumínica, el reloj podría emitir una luz débil o emitirla sólo por un tiempo breve.

⚠ PRECAUCIÓN

Antes de usar el reloj para bucear, expóngalo a suficiente luz brillante o a la luz solar.

Puede no haber luminiscencia si la luz recibida es insuficiente.

Téngase en cuenta que para bucear también debe llevar una linterna submarina.

(13) Correa resistente al agua

Algunos productos emplean correas de cuero y nilón que han recibido un tratamiento especial para resistir la transpiración y la absorción de agua. Tenga en cuenta que el efecto de resistencia al agua de esta correa se puede perder, dependiendo de los periodos y condiciones de uso.

◆ CARACTERÍSTICAS DEL PRODUCTO

(1) Este producto es un reloj mecánico de cuerda automática (provisto de un mecanismo de cuerda manual).
(2) Además de mostrar la hora, este reloj dispone de un indicador de fecha y un indicador de reserva de marcha.
(3) Está provisto de un mecanismo de parada del segundero.
(4) Usa rodamientos a prueba de choque para proteger el equilibro contra choques.
(5) Este reloj es resistente al agua hasta 200 m en condiciones de buceo libre.

◆ ESPECIFICACIONES

(1) Funciones: Manecillas de hora/minutos/segundos, fecha y display de reserva de marcha
(2) Frecuencia: 21.600 oscilaciones/1 hora
(3) Precisión diaria (ganancia/pérdida): +25~–15 segundos
(4) Sistema de impulsión: Mecanismo de cuerda por muelle principal (mecanismo de cuerda automático)
(5) Cantidad de rubíes: 22
(6) Autonomía: Más de 40 horas

La precisión diaria indicada se basa en las siguientes condiciones:

- Dejando el reloj a la temperatura ambiental normal con toda la cuerda, con la esfera dirigida hacia arriba, durante 24 horas.
- Debido a las características del reloj con mecanismo de cuerda automático, pueden producirse ligeras variaciones en la “precisión diaria” indicada arriba, dependiendo de las condiciones de uso (tiempo de uso diario, posición del reloj, movimientos de su brazo, condición de dar cuerda del muelle principal, etc.).

Para fines de mejoramiento, las especificaciones se encuentran sujetas a cambios sin previo aviso.

◆ ANTES DEL USO

⚠ ADVERTENCIA

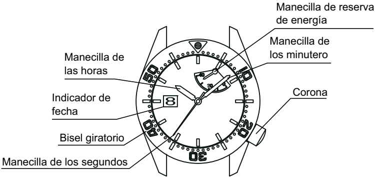
* Nunca realice operaciones no indicadas en este manual mientras bucee.
* Este reloj está destinado a usarse en buceo libre. No lo use en buceo a saturación (buceo usando gas helio).

⚠ PRECAUCIÓN

* Antes de bucear, asegúrese de haber seguido los cursos de buceo necesarios y estar cualificado para bucear con seguridad. Cumpla estrictamente las normas impartidas en dichos cursos.
* Las normas de medición para el buceo de altura son muy diferentes de las del buceo normal practicado a nivel del mar, convirtiendo el buceo de altura en una actividad peligrosa en comparación. Asegúrese de haber recibido una formación especial.
* Utilice el bisel giratorio sólo como referencia.
* En la práctica real, utilice este reloj junto con otros equipos para poder bucear con seguridad.

ESPAÑOL

◆ PARTES COMPONENTES Y SUS FUNCIONES



* La posición de la corona, indicador de fecha, etc., varía según los modelos.

◆ MECANISMO DE CUERDA AUTOMÁTICO (CON MECANISMO DE CUERDA MANUAL)



(1) Este es un reloj mecánico con mecanismo de cuerda automático. (con mecanismo de cuerda manual).

(2) Lo que le da cuerda al muelle principal son los movimientos naturales del brazo mientras lleva el reloj en su muñeca.
También puede dar cuerda al muelle principal girando la corona.

(3) De pararse el reloj, agítelo en un vaivén unas diez veces o más o gire la corona para darle cuerda y restablecer el segundero.
Después que se empiece a mover, ajuste la fecha y la hora.

(4) Para dar cuerda al muelle principal, gire la corona lentamente hacia la derecha (en el sentido de las agujas del reloj) cuando está en la posición normal.
Si se gira la corona hacia la izquierda (en el sentido contrario a las agujas del reloj) el muelle principal no se gira y no pasa nada.
Para dar cuerda completamente, gire la corona hacia la izquierda unas veinte veces desde la posición en que el reloj se ha detenido.
La corona puede seguir girándose después de que se haya dado cuerda completamente. Al dar cuerda al reloj, cuente las vueltas como se ha indicado o use las marcas en el indicador de reserva de marcha.

(5) Con toda la cuerda, este reloj funcionará durante aproximadamente 40 horas. Si le falta cuerda al reloj, podría empezar a retrasarse. Para mantener la precisión del reloj, recomendamos usarlo por lo menos, 8 horas diarias.

⚠ PRECAUCIÓN: Tenga cuidado

A fin de utilizar el reloj y mantener la precisión, le recomendamos que sujete el reloj de forma segura, tal como se muestra más arriba. Para dar cuerda al reloj, mueva el brazo de izquierda a derecha, trazando un arco, hasta que la manecilla de la reserva de marcha señale la mitad (o más) de la reserva, luego póngase el reloj en la muñeca.

◆ MODELO CON CORONA DEL TIPO DE BLOQUEO POR ROSCA

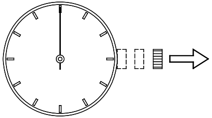
Esto tipo de reloj dispone de una (corona del tipo de bloqueo por rosca).
Si su reloj es de este tipo, proceda de la siguiente manera:

(1) Cuando desee ajustar la fecha y la hora, primero gire la corona hacia la izquierda para aflojar la rosca.
(2) Después de ajustar la fecha y la hora, gire la corona hacia la derecha mientras la presiona hacia adentro, hasta que deje de girar. La rosca quedará firmemente apretada.

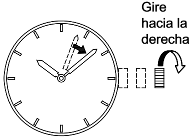
◆ PUESTA EN HORA Y AJUSTE DE LA FECHA

[Cómo ajustar la hora]

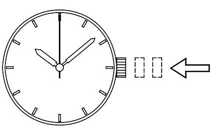
① Gire la corona en sentido antihorario para aflojar el bloqueo de rosca.
Saque la corona hasta la segunda posición cuando la manecilla alcance la posición de las 12 en punto (el segundero se detiene).



② Gire la corona en sentido horario y ponga el reloj en hora.
Debido a que este reloj dispone de calendario, ajuste sin falta a a.m. o p.m. Cada vez que cambia la fecha, la hora se ajusta a [las doce de la noche].
Cuando pone el reloj en hora, sitúe la manecilla ligeramente retrasada con respecto a la hora correcta, y luego hágala avanzar hasta la hora correcta.



③ Introduzca la corona hasta la posición desenroscada.
Una vez ajustada la hora, para bloquear la rosca, gire la corona en sentido horario, presionándola hacia dentro, hasta que deje de girar.



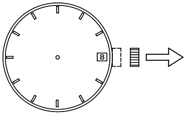
ESPAÑOL

[Ajuste de la fecha]

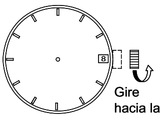
⚠ PRECAUCIÓN

Evite ajustar la fecha entre las 10:00 p.m. y las 2:00 a.m., debido a que en esta zona se efectúa el cambio de calendario. Si ajusta la fecha en esta zona horaria, puede suceder que no cambie de fecha al día siguiente, o que el reloj funcione de manera incorrecta. Cuando efectúe el ajuste de la fecha, asegúrese de mover la manecilla fuera de esta zona.

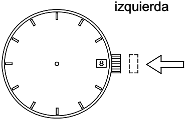
① Gire la corona en sentido antihorario para aflojar el bloqueo de rosca.
Saque la corona hasta la primera posición.
*La corona de este reloj cuenta con dos posiciones, primera y segunda.



② Gire la corona hacia la izquierda hasta llegar a la fecha de hoy.



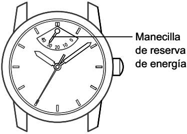
③ Introduzca la corona hasta la posición desenroscada.
Una vez ajustada la fecha, para bloquear la rosca, gire la corona en sentido horario, presionándola hacia dentro, hasta que deje de girar.
*La posición de la corona, indicador de fecha, etc., varía según los modelos.



Corrección de la fecha a fin del mes :
Es necesario efectuar la corrección de la fecha en los meses que tienen 30 días o menos. En este caso, ajuste la fecha al día [1ro.], el primer día del siguiente mes.

◆ INDICADOR DE RESERVA DE ENERGÍA

El indicador de reserva de energía muestra el grado de cuerda del reloj en términos de tiempo, para permitirle saber la autonomía del reloj, a simple vista. La manecilla de reserva de energía indica la energía restante. La hora indicada por la manecilla de reserva de energía es la cantidad de tiempo restante de energía.



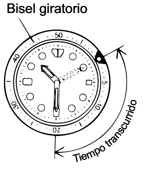
El tiempo restante indicado es solo aproximado.
El tiempo indicado podría ser diferente del tiempo restante real.

Este producto dispone de un mecanismo de cuerda automático que cuenta con la función de indicador de reserva de energía. Los movimientos de su brazo darán cuerda automáticamente al muelle principal, mientras lleve el reloj en su muñeca. La manecilla de reserva de energía indicará la posición de cuerda completa (40H). El nivel de cuerda almacenado en el reloj cambiará según la mayor o menor cantidad de movimientos de su brazo, y del tiempo que lleva puesto el reloj; por lo tanto, la manecilla no siempre indicará la posición de cuerda completa. Si usted se quita el reloj y no le da cuerda, la manecilla de reserva de energía se moverá gradualmente hacia la posición cero.

◆ CÓMO USAR EL ANILLO INDICADOR GIRATORIO

Gire el aro dirigiendo la marca ▽ hacia la manecilla de minutos. Después de un cierto tiempo, podrá medir el tiempo transcurrido a partir de la distancia entre la manecilla de minutos y las cifras del aro indicador giratorio. Asimismo podrá ajustar la marca ▽ a una hora dada, como un recordatorio del tiempo que le falta para un compromiso.

El aro no puede girarse en sentido inverso ya que está provisto de un mecanismo de protección para prevenir el mal funcionamiento debido a operaciones forzadas o golpes. Las cifras del aro podrán asistirle además a leer fácilmente la hora actual.



La ilustración superior indica que han pasado 20 minutos desde las 10:10.

ESPAÑOL

OROLOGIO MECCANICO SUBACQUEO PER IMMERSIONI CON ARIA COMPRESSA EL(40N)

MANUALE DI ISTRUZIONI

Grazie di aver acquistato il nostro prodotto. Per garantire un uso prolungato e le migliori prestazioni, leggere con attenzione questo Manuale di istruzioni e familiarizzarsi con le clausole della garanzia.

Tenere questo Manuale di istruzioni a portata di mano e consultarlo nel momento di bisogno.

◆ PRECAUZIONI PER LA SICUREZZA

Osservare con la massima attenzione quanto specificato dai contrassegni sotto indicati per evitare qualsiasi pericolo di danneggiare cose e di ferire voi stessi e altre persone.

⚠ AVVERTENZA ... Questo simbolo indica **la possibilità di causare morte o ferite gravi** quando il prodotto viene utilizzato in modo diverso rispetto alle istruzioni fornite.

⚠ ATTENZIONE ... Questo simbolo indica **la possibilità di ferire persone o danneggiare cose** quando il prodotto viene utilizzato in modo diverso rispetto alle istruzioni fornite.

◆ UTILIZZO DELL'OROLOGIO

⚠ AVVERTENZA

(1) Resistenza all'acqua

① Questo orologio è subacqueo, per immersioni con aria compressa fino a 200 m.
  * Questo orologio può essere usato esclusivamente per immersioni con aria compressa; tenere presente che non può essere usato nelle immersioni in saturazione d'elio.

② La corona è del tipo ad avvitamento. Serrare sempre saldamente la corona quando si utilizza l'orologio. In caso contrario non è possibile garantire la resistenza all'acqua dell'orologio.

③ Non ruotare la corona nell'acqua o quando l'orologio è bagnato. In caso contrario l'acqua potrebbe entrare nell'orologio. Se la corona è allentata l'acqua potrebbe entrare nell'orologio e provocare malfunzionamenti.

④ All'interno dell'orologio è presente una quantità ridotta di umidità. Se la temperatura esterna è inferiore a quella interna dell'orologio, il vetro potrebbe appannarsi. Questo appannamento temporaneo normalmente non danneggia i meccanismi interni, ma se dovesse perdurare a lungo, o se vi fosse formazione di umidità all'interno dell'orologio, occorre consultare il punto vendita dove l'orologio è stato acquistato o il centro di assistenza ORIENT WATCH di zona.

(2) Precauzioni prima delle immersioni

Prima delle immersioni verificare quanto segue:

① Controllare che l'orologio sia completamente carico.
  (In caso contrario caricare la molla principale facendo oscillare l'orologio per almeno 30 secondi.)
  Vedere la descrizione del [Meccanismo di caricamento automatico] nella sezione ◆ MECCANISMO DI CARICAMENTO AUTOMATICO a pagina 50 e ◆ INDICATORE DELLA CARICA RESIDUA a pagina 53.

② Verificare che l'orologio indichi l'ora esatta.

③ Controllare di poter ruotare correttamente la ghiera girevole. Se può essere ruotata in senso antiorario, la direzione di rotazione è corretta.

④ Verificare che la corona a vite sia correttamente serrata.

⑤ Verificare che non vi siano crepe o rotture nel vetro o nel cinturino.

⑥ Controllare che non vi siano anomalie nelle chiusure del cinturino (anse a molla e fibbia).
* In caso di anomalie non utilizzare l'orologio e rivolgersi al centro di assistenza ORIENT WATCH di zona.

(3) Precauzioni durante le immersioni

① Non ruotare la corona nell'acqua.
② Potrebbe risultare difficile ruotare la ghiera girevole a causa della pressione dell'acqua. (non si tratta di un malfunzionamento.)
③ Non sottoporre l'orologio a urti; non urtarlo, ad esempio, contro gli scogli.

(4) Precauzioni dopo le immersioni

① Non ruotare la corona quando la superficie dell'orologio è bagnata.
② Per eliminare l'acqua di mare dalla cassa o dal cinturino verificare prima che la corona sia ben serrata. Procedere quindi al risciacquo con acqua corrente per evitare la formazione di ruggine.
Dopo il risciacquo asciugare con un panno morbido per eliminare tutta l'umidità. Prestare particolare attenzione a ripulire la ghiera e la sezione di collegamento con il cinturino, quindi le anse a molla e il supporto intermedio.

ITALIANO

(5) Urti



① Si raccomanda di togliere l'orologio dal polso durante la pratica di sport pesanti, mentre la pratica di quelli leggeri, ad esempio il golf, non v'influisce negativamente.
② Evitare urti violenti, come il lasciare cadere l'orologio per terra.

(6) Magnetismo

① Qualora l'orologio venga lasciato nelle vicinanze di un forte magnetismo per un tempo più o meno lungo, le parti componenti possono rimanere magnetizzate fino al punto di causare malfunzionamenti. È opportuno prestare la dovuta attenzione.
② L'orologio può temporaneamente andare avanti o indietro mentre rimane esposto al magnetismo, ma quando viene allontanato dal magnetismo esso riprende il suo funzionamento con la precisione originale. In questo caso correggere l'ora.

(7) Vibrazioni



L'orologio può risultare meno preciso se esposto a forti vibrazioni, come in caso di guida di motociclette, o per l'uso di martelli pneumatici, seghe a catena, ecc.

(8) Temperatura

Alle temperature inferiori o superiori a quelle normali (5-35°C) l'orologio potrebbe non funzionare correttamente o addirittura arrestarsi.

⚠ ATTENZIONE

Non utilizzare l'orologio alle alte temperature, come ad esempio nelle saune. Potrebbe infatti riscaldarsi eccessivamente a causare ustioni.

(9) Prodotti chimici, gas, ecc.

Prestare la massima cautela in caso di contatto con gas, mercurio, prodotti chimici (diluenti, benzina, solventi vari, detergenti contenenti tali componenti, prodotti adesivi, vernici, medicine, profumi, cosmetici) e così via. In questi casi si potrebbe verificare lo scolorimento della cassa dell'orologio, del cinturino e del quadrante. Si potrebbe anche verificare lo scolorimento, la deformazione e il danneggiamento di vari componenti a base di resina.

(10) Informazioni sul prodotto e sugli accessori

⚠ ATTENZIONE

Non tentare di smontare o modificare il prodotto.

⚠ AVVERTENZA

Conservare perni e altri elementi di piccole dimensioni fuori dalla portata dei bambini. In caso di ingestione accidentale di piccoli pezzi, chiamare immediatamente un medico.

(11) Reazioni allergiche

⚠ ATTENZIONE

In caso di arrossamento cutaneo, o se la pelle dovesse presentare irritazioni anomale causate dal contatto con l'orologio o con il cinturino, toglierlo immediatamente e consultare un medico.

(12) Vernice luminescente

Le lancette e il quadrante di questo orologio sono ricoperti da una vernice luminescente.

Tale vernice, di tipo sicuro poiché non radioattiva, immagazzina la luce del sole e quella artificiale restituendola quindi al buio. Via via che libera la luce l'intensità luminosa si riduce gradualmente. La quantità di luce emessa e la durata dell'emissione dipendono dai vari fattori in atto nel periodo d'immagazzinamento, tra i quali la forma del vetro, lo spessore della vernice stessa, il livello di luminosità circostante, la distanza dell'orologio dalla sorgente luminosa e il livello di assorbimento. Va infine notato che quando la quantità di energia luminosa immagazzinata è insufficiente l'orologio ne potrebbe emettere poca, oppure per un tempo limitato.

⚠ ATTENZIONE

Prima di utilizzarlo per le immersioni, esporre l'orologio alla luce naturale o a una luce artificiale sufficiente.

In alcuni casi, se l'esposizione non fosse sufficiente, il prodotto potrebbe non emettere luce. Si noti che per le immersioni è richiesto anche l'uso di una torcia subacquea.

(13) Cinturino impermeabile

Alcuni prodotti impiegano cinturini di pelle e nylon sottoposti a uno speciale trattamento per renderli impermeabili e resistenti alla traspirazione. La durata dell'effetto di resistenza all'acqua dipende dal periodo e dalle condizioni di utilizzo del cinturino.

◆ PRODUCT FEATURES

(1) Questo è un orologio meccanico a caricamento automatico (provvisto di un meccanismo di carica manuale).
(2) In addition to showing the time, this watch has a date indicator and power reserve indicator.
(3) Questo orologio è provvisto di un meccanismo di arresto della lancetta dei secondi.
(4) Questo orologio utilizza supporti antiurto di protezione del bilanciere.
(5) Questo orologio è subacqueo, per immersioni con aria compressa fino a 200 m.

◆ DATI TECNICI

(1) Funzioni: lancette di ore/minuti/secondi, della carica residua e indicatore della data
(2) Frequenza: 21.600 oscillazioni/1 ora
(3) Precisione giornaliera (guadagno/perdita): +25~–15 secondi
(4) Sistema di azionamento: Caricamento dalla molla principale (caricamento automatico)
(5) Numero di rubini: 22
(6) Tempo di funzionamento: Più di 40 ore

La precisione giornaliera indicata è corretta nelle condizioni seguenti:

- A temperatura ambiente normale, con una carica completa della molla principale, con l'orologio di fronte alla piastra del quadrante sollevata e dopo che sono trascorse 24 ore.
- A causa delle caratteristiche dell'orologio a caricamento automatico, nelle condizioni seguenti l'ora potrebbe deviare dalla "precisione giornaliera" indicata (tempo trascorso di ogni giorno, posizione dell'orologio,movimento del braccio, condizione di caricamento della molla principale).

I dati tecnici del prodotto sono soggetti a modifiche senza preavviso, in vista di miglioramenti.

◆ PRIMA DELL'USO

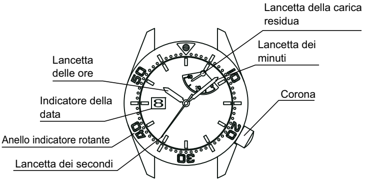
⚠ AVVERTENZA

* Durante l'immersione non effettuare mai operazioni non riportate in questo manuale.
* Questo orologio deve essere utilizzato per immersioni ad aria compressa. Non utilizzare nelle immersioni in saturazione d'elio.

⚠ ATTENZIONE

* Prima dell'immersione assicurarsi di aver frequentato i necessari corsi per la sicurezza e di essere qualificati per le attività subacquee. Seguire scrupolosamente le regole impartite durante tali corsi.
* Gli standard di misurazione delle immersioni in profondità variano molto rispetto alle normali immersioni a livello del mare; conseguentemente, le immersioni in profondità sono più pericolose. Verificare di aver ricevuto una formazione speciale.
* Servirsi della ghiera girevole solo come riferimento.
* Nella pratica reale, servirsi di questo orologio con altri dispositivi per garantire la sicurezza delle immersioni.

◆ NOME E FUNZIONI DELLE PARTI



* La posizione di corona, data, ecc., varia da modello a modello.

◆ **MECCANISMO DI CARICAMENTO AUTOMATICO**



(1) Questo è un orologio meccanico a caricamento automatico. (provvisto di un meccanismo di carica manuale).

(2) La molla principale viene caricata dai movimenti naturali del braccio mentre si porta l'orologio sul polso.
Inoltre, è anche possibile caricare la molla principale ruotando la corona.

(3) Se l'orologio si ferma, far oscillare l'orologio avanti indietro dieci o più volte o ruotare la corona per caricare la molla principale in modo da riavviare la lancetta dei secondi.
Dopo l'avvio del movimento si può impostare la data e l'ora.

(4) Quando si carica la molla principale, ruotare lentamente la corona verso destra (in senso orario) mentre si trova nella sua posizione normale.
La rotazione della corona verso sinistra (in senso antiorario) non ha alcun effetto sulla carica della molla principale.
Per caricare completamente la molla principale, ruotare la corona verso destra per circa venti volte dalla posizione in cui l'orologio si è fermato.
È possibile ruotare la corona anche se la molla principale è completamente carica. Durante la carica dell'orologio, usare il conteggio indicato sopra o i segni sull'indicatore della carica residua.

(5) Con un caricamento completo, l'orologio funziona per circa 40 ore. Se non ha abbastanza carica, l'orologio potrebbe ritardare. Per mantenere la precisione dell'orologio si raccomanda d'indossarlo almeno 8 ore al giorno.

⚠ ATTENZIONE: prestare attenzione

Al fine di utilizzare l'orologio e conservare la massima precisione, consigliamo di afferrarlo saldamente come illustrato nella figura sopra. Caricare la molla facendo oscillare il braccio a destra e a sinistra, seguendo un ampio arco, fino a che la lancetta della carica residua sia posizionata almeno al centro dell'indicatore di carica, quindi indossare l'orologio.

◆ MODELLO DI TIPO CON CORONA AD AVVITAMENTO

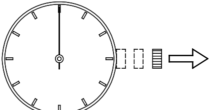
Quest modello di orologio è provvisto di una corona ad avvitamento.
Azionare questo tipo di orologio nel modo descritto di seguito:

(1) Prima di impostare data e ora, ruotare la corona verso sinistra per allentarel'avvitamento.
(2) Dopo aver impostato data e ora, ruotare la corona verso destra, mentre la si tiene premuta, fino a quando smette di ruotare. In questo modo la vite sarà avvitata saldamente.

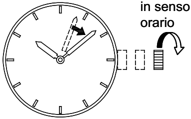
◆ IMPOSTAZIONE DELL'ORA E DELLA DATA

[Impostazione dell'ora]

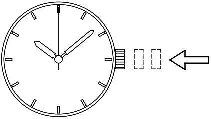
① Ruotare la corona in senso antiorario per allentare il blocco a vite.
Estrarre la corona fino al secondo clic quando la lancetta raggiunge la posizione delle ore 12 (la lancetta dei secondi si ferma).



② Ruotare la corona in senso orario e impostare l'ora corrente.
Poiché questo orologio è dotato di calendario, accertarsi di impostare l'ora a.m. o p.m. senza errori.
Quando la data cambia, passa a [ore dodici, mezzanotte].
Quando si imposta l'ora, portare per una volta la lancetta leggermente indietro rispetto all'ora corretta e poi farla avanzare sull'ora corretta.



③ Premere la corona per portarla alla posizione svitata.
Dopo aver regolato l'ora, ruotare la corona verso destra mentre la si tiene premuta, fino a quando smette di ruotare. In questo modo la vite sarà avvitata saldamente.



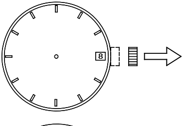
ITALIANO

[Impostazione della data]

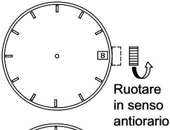
⚠ ATTENZIONE

Evitare di impostare la data tra le 22:00 e le 2:00, poiché in questo periodo è situato il cambio di data. Se si imposta la data in questo periodo di tempo, la data potrebbe non cambiare sul giorno successivo oppure l'orologio potrebbe non funzionare correttamente. Quando si imposta la data, accertarsi di spostare la lancetta lontano da questo periodo di tempo.

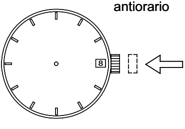
① Ruotare la corona in senso antiorario per allentare il blocco a vite.
Estrarre la corona fino al primo clic.
*La corona di questo orologio può essere estratta a livello del primo e del secondo clic.



② Ruotare la corona in senso antiorario fino a raggiungere la data odierna.



③ Premere la corona per riportarla in posizione svitata.
Dopo aver regolato la data, ruotare la corona verso destra mentre la si tiene premuta, fino a quando smette di ruotare. In questo modo la vite sarà avvitata saldamente.



*La posizione di corona, data, ecc., varia da modello a modello.

Correzione della data alla fine del mese :
La correzione di data è necessaria per i mesi di 30 o meno giorni. In questo caso, impostare la data su [1° giorno], sul primo giorno del mese successivo.

◆ INDICATORE DELLA CARICA RESIDUA



L'indicatore della carica residua mostra la quantità di carica dell'orologio sotto forma di quantità di tempo, in modo che si possa verificare subito per quanto tempo funzionerà ancora l'orologio.

La lancetta della carica residua indica la quantità rimanente.

Il tempo indicato dalla lancetta della carica residua è la quantità di tempo rimanente.

Il tempo rimanemnte indicato è solo approssimativo.

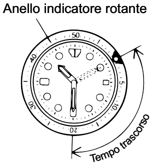
Il tempo indicato potrebbe essere diverso dal tempo rimanente effettivo. Questo prodotto è dotato di un sistema di caricamento automatico provvisto della funzione di indicatore di carica residua. La molla principale viene caricata automaticamente dai movimenti naturali del braccio mentre si porta l'orologio al polso. La lancetta della carica residua indica la posizione di carica completa (40H). La quantità di carica dell'orologio cambia con la frequenza dei movimenti del braccio e con la quantità di tempo in cui si porta l'orologio, per cui la lancetta non punta sempre alla posizione di carica completa. Se si rimuove l'orologio dal braccio e non lo si carica manualmente, a mano a mano che il tempo passa, la lancetta della carica residua si sposta sullo zero.

ITALIANO

◆ COME UTILIZZARE L'ANELLO INDICATORE ROTANTE

Ruotare l'anello sino a far coincidere il simbolo ▽ con la lancetta dei minuti. È così possibile misurare il tempo trascorso osservando la distanza angolare tra la lancetta dei minuti e le cifre riportate sulla lunetta rotante. Ruotando lo stesso simbolo ▽ sul punto desiderato si può inoltre ottenere l'indicazione del tempo residuo.

Essendo provvista di un meccanismo di protezione che ne impedisce la rotazione a forza o per impatto, la lunetta non può essere ruotata al contrario. Le cifre disposte sulla lunetta facilitano infine la lettura dell'ora attuale.



La figura precedente mostra che dalle 10:10 sono trascorsi 20 minuti.

ITALIANO

МЕХАНИЧЕСКИЕ ЧАСЫ С ВОДОЗАЩИТОЙ ДЛЯ МЕЛКОВОДНЫХ ПОГРУЖЕНИЙ EL(40N)

ИНСТРУКЦИЯ ПО ЭКСПЛУАТАЦИИ

Благодарим Вас за то, что Вы выбрали наше изделие! Для длительного и эффективного пользования изделием прочитайте данную инструкцию и ознакомьтесь с условиями гарантии.
Сохраните эту инструкцию для использования в дальнейшем.

◆ МЕРЫ ПРЕДОСТОРОЖНОСТИ

Строго соблюдайте приведенные ниже инструкции для предотвращения любого ущерба здоровью и повреждения Вашего имущества и имущества других лиц.

⚠ ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ ... Данный символ означает **возможность летального исхода или серьезных травм в случае,** если данный продукт будет использоваться любым способом, отличным от приведенных инструкций.

⚠ ВНИМАНИЕ ... Данный символ означает **возможность серьезных травм или материального ущерба только в том случае,** если данный продукт будет использоваться любым иным способом, отличным от приведенных инструкций.

◆ ОБРАЩЕНИЕ С ЧАСАМИ

⚠ ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

(1) Герметичность

① Эти часы снабжены водозащитой до 200 м и могут использоваться для мелководных погружений.

*Часы можно использовать только для мелководных погружений; не используйте их для глубоководных погружений (с гелием).

② Головка завинчивающегося типа. Используя часы, всегда хорошо затягивайте головку. При незатянутой головке водонепроницаемость часов не гарантируется.

③ Не крутите головку в воде или на мокрых часах В этом случае в часы может проникнуть вода. Если головка плохо затянута, в часы может проникнуть вода, которая нарушит их работу.

④ В часах присутствует небольшое количество влаги. Если температура окружающей среды ниже температуры в часах, стекло может запотеть. Временное запотевание не наносит вреда внутреннему механизму, однако, если стекло долго остается запотевшим или в часы попала влага, рекомендуется обратиться в магазин, где были приобретены часы, или в ближайший сервисный центр ORIENT WATCH.

(2) Меры предосторожности перед погружением.

Перед погружением сделайте следующее.

① Убедитесь, что часы полностью заведены.
(Если это не так, заведите пружину, покачав часы не менее 30 секунд.)
См. описание [механизма автоматического завода] в разделе ◆ МЕХАНИЗМ АВТОМАТИЧЕСКОГО ЗАВОДА (С МЕХАНИЗМОМ РУЧНОГО ПОДЗАВОДА) на странице 62 и ◆ ИНДИКАТОР ЗАПАСА ХОДА на странице 65.

② Проверьте правильность установки времени на часах.

③ Проверьте вращение кольца. Если его можно повернуть против часовой стрелки, это значит, что кольцо функционирует нормально.

④ Проверьте затяжку завинчивающейся головки.

⑤ Убедитесь, что на стекле и на браслете/ремешке нет трещин и сколов.

⑥ Проверьте крепления браслета (пружинный фиксатор и застежку).
* В случае проблем не пользуйтесь часами и обратитесь в сервисный центр ORIENT WATCH.

(3) Меры предосторожности во время погружения

① Не пользуйтесь головкой в воде.
② Из-за давления воды кольцо может вращаться с большим усилием. (Это нормально.)
③ Оберегайте часы от ударов (например, о камни).

(4) Меры предосторожности после погружения

① Не пользуйтесь головкой, пока на поверхности часов остается вода.
② Перед тем как вытереть соленую воду с корпуса и браслета/ремешка, убедитесь, что головка туго затянута.
Затем промойте часы чистой водой во избежание появления ржавчины. Затем насухо протрите их мягкой сухой тканью. Будьте особенно осторожны, протирая вращающееся кольцо и крепления браслета/ремешка (пружинный фиксатор и застежку).

(5) Ударопрочность



① Снимайте часы во время занятий энергичными видами спорта, однако, занятие такими видами спорта, как гольф и т. д., не окажет негативного воздействия на состояние часов.
② Избегайте сильного удара типа падения часов на пол.

(6) Воздействие магнитных полей

① Запрещается подвергать часы воздействию сильных магнитных полей в течение длительного периода времени, поскольку компоненты часов могут намагнититься, что приведёт к нарушению работы часов. Соблюдайте осторожность.
② Под воздействием магнитного поля часы могут временно спешить или отставать.Точность показаний часов будет восстановлена, если устранить воздействие магнитного поля на часы. В таком случае повторно установите время.

(7) Вибрация



Часы могут потерять точность, если будут подвержены сильной вибрации, например, вызываемой поездкой на мотоцикле, использованием отбойного молотка, цепной пилы и т. д.

(8) Температура

Часы могут идти неправильно или остановиться при температурах ниже или выше нормального диапазона (5°C – 35°C).

ВНИМАНИЕ

Не пользуйтесь часами при высокой температуре (например, в сауне). Часы могут нагреваться и вызывать ожоги.

(9) Химические вещества, газы и т.п.

Следует соблюдать максимальную осторожность при контакте с газами, ртутью, химическими веществами (разбавителем для краски, бензином, различными растворителями, моющими средствами, содержащими такие вещества, клеями, красками, лекарственными препаратами, парфюмерией, косметикой и пр.) и т.п. Эти вещества могут изменить цвет корпуса часов, браслета/ремешка и циферблата. Возможны также изменение цвета, деформация и повреждение полимерных компонентов.

(10) Об изделии и дополнительных принадлежностях

ВНИМАНИЕ

Не пытайтесь разобрать изделие или внести изменения в конструкцию.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Не давайте шпильки браслета/ремешка и другие мелкие детали детям. В случае проглатывания мелкой детали немедленно обратитесь к врачу.

(11) Аллергические реакции

⚠ ВНИМАНИЕ

Если после контакта с браслетом на коже появляется сыпь или раздражение, прекратите носить часы и незамедлительно обратитесь к врачу.

(12) Люминесцентное покрытие

На стрелках и кольце часов имеется люминесцентное покрытие.
Оно выполнено из безопасной нерадиоактивной краски, накапливающей солнечный и искусственный свет и отдающей его в темноте. Отдавая накопленный свет, покрытие постепенно становится более тусклым. Количество отдаваемого света и время свечения зависят от различных факторов: формы стекла, толщины слоя краски, уровня яркости окружающей среды, расстояния от часов до источника света и степени поглощения света. Помните, что если накоплено немного света, часы будут светиться слабо или недолго.

⚠ ВНИМАНИЕ

Перед погружением с часами положите их на солнце или под лампу.
В некоторых случаях при недостаточном освещении часы могут не светиться.
Помните, что во время погружения необходимо также использовать фонарь.

(13) Водонепроницаемый браслет

В некоторых моделях используются кожаные и нейлоновые ремешки, подвергнутые специальной обработке для защиты от потоотделения и воздействия воды. Свойство водонепроницаемости данного браслета может быть потеряно в зависимости от периода и условий эксплуатации.

◆ ХАРАКТЕРИСТИКИ ИЗДЕЛИЯ

(1) Данное изделие представляет собой механические часы с автоматическим подзаводом (с механизмом ручного подзавода).
(2) Помимо времени, эти часы показывают дату и запас хода.
(3) Часы снабжены механизмом остановки секундной стрелки.
(4) В них используются ударостойкие подшипники для защиты балансира от ударов.
(5) Эти часы имеют водозащиту до 200 м и могут использоваться для мелководных погружений.

◆ ТЕХНИЧЕСКИЕ ХАРАКТЕРИСТИКИ

(1) Функции: часы/минуты/секунды стрелки, дата и запас хода
(2) Частота колебаний: 21 600 колебаний/1 час
(3) Суточная точность хода (опережение/отставание): от +25 до -15 секунд
(4) Система привода: завод пружины (автоматический завод)
(5) Количество камней: 22
(6) Продолжительность хода: более 40 часов

Заявленная суточная точность хода обеспечивается при соблюдении следующих условий:

- После 24 часов пребывания в условиях комнатной температуры, с полностью заведенной и циферблатом, обращенным вверх.
- Часы с автоматическим заводом обладают некоторыми свойствами, влияющими на отклонение «суточной точности хода» от заявленного значения; на это влияют следующие факторы: продолжительность ежедневного ношения часов, положение часов, движения вашей руки и условия завода пружины.

Технические характеристики могут быть изменены без предварительного уведомления в связи с модернизацией изделия.

◆ ПЕРЕД НАЧАЛОМ ЭКСПЛУАТАЦИИ

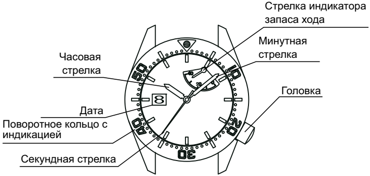
⚠ ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

* Во время погружения запрещается выполнять операции, не описанные в настоящей инструкции.
* Эти часы предназначены для мелководных погружений. Не используйте их для глубоководных погружений (с гелием).

ВНИМАНИЕ

* Перед погружением вы должны пройти курс техники безопасности и получить разрешение на погружение. Строго соблюдайте правила, о которых вам расскажут на курсах.
* Погружения в условиях высокогорья значительно отличаются от обычных погружений, и сравнивать их без соответствующей подготовки рискованно. Нужно пройти специальное обучение.
* Вращающееся кольцо используется только для информации.
* Используйте эти часы в комплекте с другим оборудованием для безопасного погружения.

◆ НАЗВАНИЯ И НАЗНАЧЕНИЯ КОМПОНЕНТОВ



* Положение головки, индикатора даты и т.п. у разных моделей может отличаться.

◆ МЕХАНИЗМ АВТОМАТИЧЕСКОГО ЗАВОДА (С МЕХАНИЗМОМ РУЧНОГО ПОДЗАВОДА)



(1) Данные часы - механические, они оснащены функцией автоматического завода. (с механизмом ручного подзавода).

(2) При ношении часов на запястье пружина заводится от естественных движений руки.
Основную пружину можно также завести с помощью головки.

(3) Если часы остановились, покачайте их из стороны в сторону более десяти раз, либо заведите основную пружину с помощью головки, чтобы запустить секундную стрелку.
После того, как стрелка будет запущена, установите дату и время.

(4) При заводе основной пружины медленно поворачивайте головку вправо (по часовой стрелке) до стандартного положения.
При повороте влево (против часовой стрелки) головка прокручивается и основная пружина не заводится.
При остановке часов пружину можно завести полностью, повернув головку вправо около двадцати раз.
Головку можно поворачивать дальше, даже если пружина полностью заведена. При заводе часов ориентируйтесь на количество оборотов, указанное выше, либо на показания индикатора запаса хода.

(5) С полным заводом часы будут идти приблизительно 40 часов. Если часы заведены недостаточно, точность хода может отличаться от заявленной. Для обеспечения точности хода часы рекомендуется носить не менее 8 часов в день.

⚠ ВНИМАНИЕ: Будьте осторожны

Для сохранения точности часов рекомендуется держать их надежно, как показано на рисунке выше. Заводите пружину, водя рукой влево и вправо по большой дуге, пока стрелка индикатора запаса хода не станет показывать как минимум на середину шкалы, затем наденьте часы на запястье.

◆ МОДЕЛИ С ЗАВИНЧИВАЮЩЕЙСЯ ГОЛОВКОЙ

Часы данного типа имеют завинчивающуюся головку.
Для эксплуатации часов данного типа:

(1) Перед установкой даты и времени поверните головку против часовой стрелки, чтобы разблокировать винт.

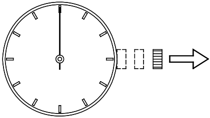
(2) Установив дату и время, нажмите на головку и поверните ее по часовой стрелке до упора, чтобы заблокировать винт.

◆ УСТАНОВКА ВРЕМЕНИ И ДАТЫ

[Установка времени]

① Поверните головку против часовой стрелки, чтобы освободить завинчивающую блокировку.

Когда стрелка окажется в положении 12 часов, вытяните головку до второго щелчка. (Секундная стрелка остановится.)



② Поверните головку по часовой стрелке и установите текущее время.

Поскольку часы оснащены календарем, убедитесь, что установлено правильное время суток: a.m. (до полудня) или p.m. (после полудня).

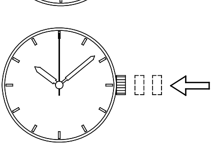
Дата меняется в [двенадцать часов ночи].

При установке времени сначала поместите стрелку немного раньше нужного значения, а затем переведите ее вперед до правильного времени.



③ Нажмите на головку, не завинчивая ее.

Установив время, хорошо затяните головку, нажимая и поворачивая ее по часовой стрелке до упора.

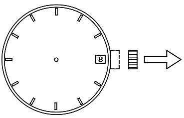


[Установка даты]

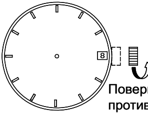
⚠ ВНИМАНИЕ

Не рекомендуется корректировать дату в промежутке от 10:00 вечера до 2:00 ночи, поскольку в это время меняется дата. При установке даты в этот промежуток времени она может не смениться вовремя, либо может возникнуть сбой в работе часов. При установке даты обязательно переведите часовую и минутную стрелку на другой промежуток времени.

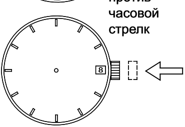
① Поверните головку против часовой стрелки, чтобы освободить завинчивающую блокировку.
Вытяните головку до первого щелчка.
*На данных часах головку можно выдвигать до первого и второго щелчка.



② Поворачивайте головку по часовой стрелке, пока не будет установлена текущая дата.



③ Нажмите на головку, не завинчивая ее.
Установив дату, хорошо затяните головку, нажимая и поворачивая ее по часовой стрелке до упора.
*Положение головки, индикатора даты и т.п. у разных моделей может отличаться.



Коррекция даты в конце месяца:
Если в месяце 30 дней или меньше, необходимо корректировать дату. Установите дату на [1-е число] следующего месяца.

РУССКИЙ

◆ ИНДИКАТОР ЗАПАСА ХОДА

Индикатор хода показывает уровень завода часов, позволяя с одного взгляда оценить, сколько еще времени часы будут идти. Значение, которое указывает стрелка индикатора запаса хода, и есть оставшееся время.

Оставшееся время указывается только приблизительно.

Показанное время может отличаться от действительного запаса хода.

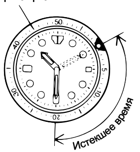


Данные часы с автоматическим заводом оснащены индикатором запаса хода. При ношении часов на запястье пружина будет автоматически заводиться от естественных движений руки. Стрелка запаса хода показывает на положение полного завода (40 часов). Уровень завода часов меняется в зависимости от интенсивности движений руки и продолжительности ношения часов, поэтому стрелка не всегда показывает на положение полного завода. Если снять часы с руки и не заводить их специально, стрелка запаса хода начнет постепенно перемещаться к нулю.

◆ ИСПОЛЬЗОВАНИЕ ПОВОРОТНОГО КОЛЬЦА С ИНДИКАЦИЕЙ

Поверните кольцо таким образом, чтобы совместить метку ▽ с минутной стрелкой. При прохождении определенного времени Вы можете измерить истекшее время по расстоянию между минутной стрелкой и цифрами на вращающемся кольце индикатора. Вы также можете установить метку ▽ на желаемое время, чтобы напоминать себе, сколько времени остается до условленного времени.

Поворотное кольцо с индикацией



На рисунке выше показано, что с момента, когда было 10:10, прошло 20 минут.

Кольцо не может поворачиваться в противоположном направлении, поскольку оно оснащено защитным механизмом, предназначенным для защиты от ошибочной операции в результате приложения силы или удара. Цифры на вращающемся кольце также могут упрощать считывание текущего времени.

空气潜水 EL(40N) 防水机械表

使用说明书

感谢您购买本公司产品。为了保证您能长期使用本产品并确保最佳性能，请仔细阅读本说明书并熟悉相关保修条款。

请将本说明书放置便于取阅之处，以便需要时及时查阅。

◆ 安全注意事项

为避免您或他人受到人身伤害或财产损失，请务必阅读并遵循标有以下符号的说明事项。

⚠ 警告	... 本符号代表的内容含义为**本产品的使用方式与说明书不符时可能造成的死亡或严重伤害。**
⚠ 小心	... 本符号代表的内容含义为**本产品的使用方式与说明书不符时可能造成的人员伤害或材料损伤。**

◆ 使用手表的注意事项

⚠ 警告

(1) 防水性能

① 本款手表为深达 200 米防水空气潜水表。
 *本款手表仅用于空气潜水使用; 请注意不得用于(使用氦气的)饱和潜水。

② 把头为螺丝锁紧型。使用本款手表时请务必牢固锁紧把头。如果未能牢固锁紧把头，防水性能将无法保证。

③ 请勿在水下或手表表面水迹未干的情况下操作把头。以防止水渗入表内。如果把头松动，就可能有水进入表内，从而导致故障。

④ 表内有少许潮湿空气。如果外界温度低于表内温度，镜面上可能会出现水雾。暂时的水雾不会影响手表的内部机构，但是如果水雾持续很长时间或者表内出现湿汽，请与购买手表的商店或最近的 ORIENT WATCH 维修中心联络。

(2) 潜水前的注意事项

潜水前请务必确认以下事项。

① 确认手表发条已上满弦。
 （如上弦不足，请来回晃动手表至少 30 秒钟，给发条上弦。）
 请参阅第 74 页 ◆ 关于自动上弦机构（手动上弦机构）以及第 77 页的 ◆ 动力存储指示中的说明。

② 确认手表显示的时间正确。

③ 确认活动边圈可正常转动。如果边圈可逆时针转动,则表示它可正常转动。

④ 确认已牢固锁紧螺丝锁紧型把头。

⑤ 确认手表镜面或表带上无裂缝或缺口。

⑥ 确认表带链节（弹簧条和扣环）无异常状况。

* 如果出现异常，请勿继续使用手表并联络 ORIENT WATCH Service Center（东方表维修中心）。

(3) 潜水时的注意事项

① 请勿在水下操作把头。

② 由于水压原因，使用者可能难以在水下转动活动边圈。（此为正常现象，并非故障。）

③ 请勿使手表受到类似撞击岩石的震动。

(4) 潜水后的注意事项

① 手表表面水迹未干时请勿操作把头。

② 清洗表壳或表带上附着的海水之前，请确认已牢固锁紧把头。然后用淡水冲洗以防生锈。
冲洗后用软布彻底擦干。特别注意要仔细擦拭边圈及表带连接部（弹簧条和扣环）。

(5) 撞击



① 千万不要佩带手表从事剧烈运动，而诸如高尔夫球等轻度运动则不会对手表造成有害影响。

② 请避免将手表掉落在地等剧烈撞击。

(6) 磁化

① 如果手表长期接触于强磁力环境中，零部件可被磁化，造成失灵。请注意这一点。

② 当手表接触于磁力环境中，可能会暂时变快或变慢，但离开磁场后即可恢复至原来的精度。此时，请校对时间。

(7) 震动

手表受到强烈震动（比如，骑摩托车、使用手提钻或链锯等）时可能会暂时变慢。



(8) 温度

将手表置于低于或高于正常温度范围（5°C-35°C）的环境时，手表可能会失灵或停止走动。

⚠ 小心

请勿在桑拿浴室等高温环境下使用手表。否则手表会变热而导致灼伤。

(9) 化学品、气体等

千万小心不要让手表接触各种有害气体、水银和化学品（稀释剂、汽油、各种溶剂、含该类成分的洗涤剂、粘合剂、涂料、药物、芳香剂及化妆品等）等。这类接触可能会导致表壳和表盘表面变色。各种含树脂成分的元件也会发生变色、变形及损坏。

(10) 关于本款手表与配件

⚠ 小心

不要尝试拆卸或改装本款手表。

⚠ 警告

请将表带卡针和其他小部件远离儿童存放。如不慎吞下任何部件请立即联络医生。

(11) 过敏反应

⚠ 小心

如果出现皮疹或因手表或表带导致皮肤过敏，请立即停止佩戴手表并联络医生。

(12)“夜光”

部分产品的指针和表盘涂抹有夜光涂层。

本产品使用的夜光涂层采用非放射性物质的安全涂料，可以储存日光和人造光能量，在黑暗环境下会释放光能。随着涂料缓慢释放储存的光能，夜光会逐渐变暗。夜光涂层在储存光能时，镜面形状、涂层厚度、周围亮度等级、光源距离和光吸收水平等各类因素都会对发光量和发光时间产生影响。如果光能储存不足，手表可能只会发出微弱的夜光或短暂发光，敬请注意。

⚠ 小心

佩戴手表潜水之前，请给手表以足够的人造光或阳光光照。在某些光线不足的情况下，手表可能无法发出夜光。

请注意，潜水时务必利用水下的光线。

(13) 防水表带

部分产品采用的皮革或尼龙表带都已经过特殊的防水和防汗处理。根据佩戴时间和使用条件，表带的防水效果可能会变差，敬请谅解。

◆ 产品特点

(1) 本款手表属于（带手动上弦装置的）自动上弦机械表。
(2) 除时间显示外，本款手表还具有日期及动力存储指示。
(3) 具备秒针停止装置。
(4) 采用防震装置保护手表的摆轮游丝免受冲击。
(5) 本款手表为深达 200 米防水表，可用于空气潜水。

◆ 规格

(1) 功能：时／分／秒针、日期及动力存储显示
(2) 震动：21,600 次震动／小时
(3) 日精度（快／慢）：+25 秒～ -15 秒
(4) 驱动系统：发条旋卷（自动上弦）
(5) 钻石数：22
(6) 连续走动时间：40 个小时以上

所述日精度按以下情况为标准：

- 在正常室温下发条上满弦后，将手表朝上放置，运行 24 小时。
- 由于此款手表为自动上弦，根据以下情况它可能会偏离所述的“日精度”：每天佩戴的时间、手表的位置、手臂的摆动及发条上弦情况。

规格若有更改，恕不另行通知。

◆ 使用前

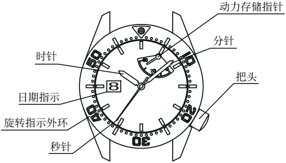
⚠ 警告

* 潜水时切勿进行本说明书中未指示的操作。
* 本款手表可用于空气潜水。不得用于饱和潜水 (使用氦气的潜水)。

小心

* 潜水前请务必接受必要的潜水安全课程，确保可以安全地潜水。请务必严格遵循从课程中获知的操作规则。
* 高海拔潜水与正常海拔潜水的测量标准迥异，混淆二者区别将十分危险。请务必事先接受相关的特别培训。
* 活动边圈的使用方法仅供参考。
* 实际使用时，为确保潜水安全请与其他设备一起使用。

◆ 各部件名称及功能



* 因产品型号不同，把头位置、日期指示等各不相同。

中文

◆ 关于自动上弦机构（手动上弦机构）



(1) 本款手表为自动上弦机械表。(带手动上弦机构)。
(2) 将手表佩戴在手腕上，随着手臂的自然运动，发条会自动上弦。
此外，也可采用转动把头给发条上弦。
(3) 如果手表停止走动，或来回晃动手表十几次，或转动把头给发条上弦。
来重新启动秒针。
此后请重新设置日期和时间。
(4) 拧紧发条时，慢慢向右（顺时针）转动把头，并确保把头处于正常位置。
向左（逆时针）转动把头只是把头的无效转动，并不会给发条上弦。
从停止位置开始，向右转动把头大约 20 次可给发条上满弦。
完成上弦后依然可以转动把头。手表上弦时，即可利用上述说明的转动次数也可利用动力存储指示上的标记刻度。
(5) 上满弦后，手表会持续走时约 40 个小时。如果上弦不足，可能会导致走时不准。为了保持手表的走时精度，建议每天至少佩戴手表 8 小时。

⚠ 小心：请多加小心

为了维持手表的正常使用及精度，建议您按照上图所示持拿手表。以较大的弧形左右晃动手臂，给发条上弦，待动力存储指针处于动力范围的中间位置（或更高位置）后再将表佩戴在手腕上。

◆ 螺丝锁紧型把头的手表款式

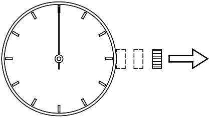
本类型手表带有螺丝锁紧型把头。
本款手表的操作方式如下：

(1) 设置日期、时间或旋转图案前，先要向左转动把头松开钮锁。
(2) 设置日期、时间或旋转图案后，向右转动按入把头，直到不能转动，以确保螺钮拧紧。

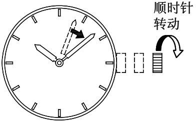
◆ 时间及日期的设置方法

［时间设置方法］

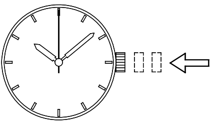
① 逆时针转动把头，松开锁定螺丝。
当秒针到达 12 点钟位置时，将把头拉出至 2 段。（秒针会停止走动。）



② 顺时针转动把头来调整精确的时间。
由于本款手表带有日历，请务必设定 a.m.（上午）或 p.m.（下午）。
日期从［午夜 12 点］开始变更。
调整时间时，请在指针快到达正确时间时稍许往回拨一下，然后再向前拨到正确时间。



③ 将把头推入未锁紧位置。
调整时间后，顺时针转动把头的同时将其推入，直至无法转动为止，以便牢固锁紧把头螺丝。



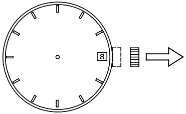
中文

［日期设置方法］

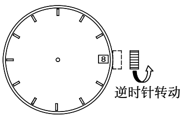
⚠ 小心

请避免在10:00 p.m.和2:00 a.m.之间调整日期,因为日历会在此段时间内转换。如果在此段时间内调整日期，日历可能不会在第二天自动转换，或者手表会发生故障。调整日期时，请将时针、分针避开此时间带。

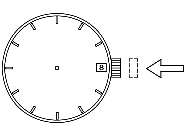
① 逆时针转动把头，松开锁定螺丝。
将把头拉出至 1 段。
*本款手表上的把头可拉出至 1、2 段。



② 逆时针转动把头，直至日历盘转到今天的日期。



③ 将把头推入未锁紧位置。
调整日期后，顺时针转动把头的同时将其推入，直至无法转动为止，以便牢固锁紧把头螺丝。
* 因产品型号不同，把头位置、日期指示等各不相同。



关于月末日期修正：
遇到小月时有必要修改日期。到了下个月的首日时，请把日期调整为［1 日］。

中文

◆ 动力存储指示

动力存储指示显示手表发条上弦的能量情况，让你轻松了解手表还能走动多长时间。动力存储指针所指向的时间就是手表剩余可走动时间。



该剩余可走动时间仅为大致时间。

实际情况可能会有出入。

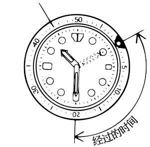
本款手表带有具动力存储指示功能的自动上弦系统。当您将表佩戴在手腕上时，通过手臂的自然运动，发条即可自动上弦。动力存储指针指向发条上满位置（40 小时）。手表上弦的松紧情况会因您手臂的运动频率及佩戴时间而异，因此该指针也有可能不指向发条上满位置。如果摘下手表，又不进行手动上弦，随着时间的流逝，动力存储指针将向 0 刻度移动。

◆ 旋转指示外环的使用方法

提醒注意的是，部分手表型号带有旋转指示外环，请采用正确方式使用。

转动指示外环使 ▽ 三角记号指向分针位置。经过一段时间后，转动指示外环数字位置与分针位置之间的时间差即为实际经过的时间。你也可以将 ▽ 三角记号放置在预设时间位置来提醒自己距离约定还剩多长时间。

指示外环不能逆向转动，并具有保护机构来防止外力和碰撞的误操作。外环上数字也有助于您轻松地读取精确的时间。



上图显示从 10:10 起已经过去了 20 分钟。

中文